

組合そくほう

全大教ホームページ <http://www.zendaikyo.or.jp/>
信州大学教職員組合
URL <http://www7a.biglobe.ne.jp/~akarenga/>

信州大学教職員組合事務局
直通電話：0263-33-0933 (FAX 兼用)
内線：811-2341
akarenga@kbf.biglobe.ne.jp

通算 901 号 2021 年 2 月 22 日発行

全大教関東甲信越地区単組代表者会議

2月20日(土)に、全大教の関東甲信越地区単組代表者会議がオンラインで開催されました。各大学・研究機関の情報交換などをおこないました。

給与の人事院勧告準拠への対応、非常勤職員の労働条件の改善、大学「改革」などの他に、次のような内容について情報交換しました。

①新型コロナ対策にともなう在宅勤務での労働条件(必要な物品の経費、労働時間など)の改善について。機関によっては海外勤務もあり、それぞれの国のコロナ対策によって就労スタイルが大きく異なってくるが、一つの就業規則で対応せざるをえない。また、教員はリモートワークに移行できるが、事務系職員は移行しにくいような小規模の職場では、安全確保の点から不公平感がある。

②コロナ禍の影響もあり、疾病で休職する教員・職員が増えている。そうした人が、仕事に復帰できるようにする復帰プログラムはあるか。

③組合の執行委員会をオンラインで開催するようになったので、執行委員でない組合員にも参加を呼びかける拡大会議にして、組合活動の活性化をはかった事例がある。労働組合が労働相談の窓口になる(組合が適切な専門家へつなぐ)、労働組合で定例的な学習会を開催しているところもある。コロナ禍の中で新たな労働問題も生じており、そこで組合が力を発揮することが大切である。

また、あわせて関東甲信越地区代表者会議(総会)が開催されました。

(農学部・三木)

全大教全国書記交流会

1月15日(金)全大教全国書記交流会がありました。29大学36名の参加で、「コロナ禍での勤務の変化について」「書記の待遇・労働条件について」「組合へ寄せられる相談への対応」の3つのテーマで報告と情報交換を行いました。全国の同じ立場で働く仲間たちとの交流はとても有意義で、共感したり、取り入れてみたい情報も聞けてよかったです。オンラインでの交流会開催に心配もありましたが、それぞれ普段は一人で働く方が多いため「顔を見れてよかった」という感想が多くありました。今後もその時々で工夫しながら交流を続けていけるといいなと思います。

(事務局・福田)

〈長野ろうきん〉のキャッシュカードは
ATMお引出し手数料

手数料

その場で! 全額

キャッシュバック
コンビニATMでも使えます

1 [手数料は実質0円]フルキャッシュバック

全国の(ろうきん)、セブン銀行などのコンビニ、ゆうちょ銀行、
その他の金融機関のATMでお引出しいただけます。

※設置場所・時間帯によってはご利用いただけない場合があります。

はたらく人の想いと生きる
長野ろうきん



長野ろうきん

検索